



玉江小学校だより

玉江の教育

ホームページURL <http://www.keinet.com/tamaes/>

令和5年3月発行
鹿児島市立玉江小学校
第12号

～ 植物の生長から学ぶ ～ 花づくりから人づくりへ思いを巡らせて

玉江小学校 校長 佐々木 好彦



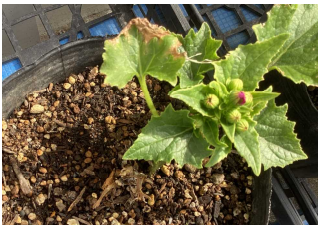
全国的には桜の開花宣言を耳にするようになり、春の木市も始まったとの報道に接する時期になりました。本校でも、校門から正面玄関にかけて、菜の花、パンジー、ビオラ、クリサンセマム、マーガレット、キンセンカ、リビングストーンデージー、ツルコザクラとプランターや一人一鉢の花鉢に花があふれてきつつあります。また、学校だより6月号でお伝えしたボランティアで活動してくださっている田中順子さんが活けてくださる花びんには、スイートピー、マーガレット、ユリなどがピンク色で整えられ、正面玄関や校長室内を華やかな雰囲気にしてれています。

さて、これらの学校の花々はその量から苗を買ってくるのではなく、種を種まき用土に播き、それをポットに仮植して育苗し、ポット内に根が十分に育ってからもっと大きなポットや鉢に移植して花を咲かせるというたいへん手間のかかる作業の繰り返しで、百花繚乱の今を迎えます。

このような手間のかかる作業を本校では学校主事（用務員と呼ぶ学校もある）が一手に引き受けて計画的に取り組んでいます。植物を育てる時に最も大切なことは土づくりだと言われますが、本校の主事は使い終わった土をふるいにかけ、消毒したうえでしばらく寝かせ、元肥を十分に入れた栄養たっぷりのふかふかの土づくりをしてれています。これが一人一鉢にも使われます。



関心をもって温室や鉢花を見ているといくつか植物に教えられることがあります。まず、芽を出すときの力強さ。右上の写真は発芽してすぐの様子ですが、小さな小石を押しつけるくらいの力強さです。生まれてすぐに立ち上がり母親と一緒に行動ができるようになる子牛や子羊を想像させるものがあります。自然界はそのような強さがないと生きていけないのだと教えてくれているようです。



今年は、植物を育てるうえで大きな試練が襲いました。1月末の積雪です。寒さに強くない植物は、雪に当たると組織が壊れてしまい、溶けたようになってしまいます。軒下で雪が当たらないように備えをしていたつもりでしたが、思いのほかの大雪、かつ横殴りの雪でマーガレットの葉も黒ずんでしまいました。学校主事が黒ずんだ部分を取り除いて、液肥等を施すとまた、新しい脇芽が出てきて本来の姿を取り戻しつつあります。卒業式には痛みの少なかったものが舞台を飾ってくれそうだ、傷んだものも入学式には間に合いそうだという見通しを話して下さり安心しました。校長室の軒下にサイネリアの鉢(左写真)が数個おいてあります。この植物も寒さに弱く、積雪でほぼ枯れたようになりましたが、丁寧な世話により、根は生きていたようで、新しい葉がまた横の方から出てきました。マーガレットもサイネリアも素晴らしい復元力（復原力）を示してくれました。子供たちにも、困難な状態が起きた時の傾いた船を元に戻す力が大切なように思います。

最後に、他校の校長室で拝見した「田んぼの肥やしは人の足音」という言葉がなぜか心に残っています。「田の肥料は人の足音だ」と直接的には読めますが、何度も田んぼに足を運ぶこと、つまり、稲に関心をもって足を運び、田んぼの稲の生育状態を確認、必要な対処をその時その時にとることが大切という教えだと解釈しました。それだけ多く教室に足を運び、子供たちの学びの様子を確認しなさいと教えてくれます。

本校の特色でもある緑化活動から次の四点を確かめておきます。

- ① 土づくりの大切さ…子供を取り巻く環境は我々大人の責任。安心して身をゆだねられる環境づくりを
- ② 芽吹いたときの力強さ…幼稚園から小学生に当たるころ、養分と水をグングン吸い上げる強さと力を
- ③ 復元力(力強さ)の体得…つらいこと、うまくいかないことがあっても元に戻す安定感と危機管理を
- ④ 保護者・教師のフットワーク…関心をもって我が子の成長を確認しながら目をかけ続ける粘り強さを

令和4年度、その時期その時期に合った内容になるように工夫して紙面を構成してきました。時々、学校だよりが楽しみですと言ってくれる方がおり、そのお言葉を励みに四苦八苦しながら仕上げました。お読みいただきありがとうございます。来年度もいいネタ、分かりやすい表現、時にはウィットも織り交ぜながら、紙面づくりに励みます。1年間の学校教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。

素敵な思い出のお別れ遠足&6年生を送る会

1ページ

みんなが楽しみにしていたお別れ遠足。あいにくの雨となり学校遠足となりましたが、6年生を送る会やみんなで食べるお弁当、体育館でのゲームなど楽しいひと時を過ごしました。

6年生を送る会では、総務企画委員会や集会委員会の5年生が中心となって、レクリエーション(学校クイズ)や1年生からのダンスのプレゼントなどの内容のビデオを作成し、各学級の大テレビで視聴しました。

学校遠足では、各学級や学年でのレクリエーションなどで盛り上がっていました。教室にシートを並べて食べたお弁当も格別だったことでしょう。

6年生の皆さん、行事等でのリーダーシップや1年生のお世話話、委員会活動や朝のボランティア活動など、ありがとうございました。



1年生から6年生への手作りプレゼント



教室にシートをならべてみんなでおいしくお弁当

6年生総合的な学習の時間「職業・生き方リサーチプロジェクト」

太鼓作り～心に響く深い学びへ



6年生の総合的な学習の時間「職業・生き方リサーチプロジェクト」では、「宮丸太鼓店」の宮内礼治さんにご来校の上、講話をしていただきました。牛の皮を使って実際に太鼓の革を作りながら、子どもたちからの質問に答える形で「自分の仕事に対する誇り」「熟練の技術」「命の大切さ」「人権を大切にすること」「知ることが大事であること」などについて話をされました。

講演後に児童から『かわいそう』ではなく『ありがとう』という気持ちが大切』という感想もあり、人や物を見るとき、いろいろな見方や考え方で見るのが大切であることなどを学びました。キャリア教育の視点や人権感覚など一人一人がそれぞれの感じ方で多くのことを学び、心がほっこり温くなる素敵な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

伊敷長なすの鉢上げをしました



3月15日、鹿児島大学の中野八伯先生に講師としてご来校いただき、5年生が伊敷長なすの「鉢上げ」を行いました。鉢上げの必要性や具体的なポリ鉢への植え替えの仕方などを説明していただき、一人ずつ丁寧に作業を進めていきました。

授業の最後に「苗半生」という言葉の意味について心に響くお話をしていただき、子どもたちも集中して聞いていました。来年度5月に新5年生に引き継ぐまでポット苗の育成に愛情を注いでいきます。

玉江小学校卒業生としての誇りを胸に!
～同窓会入会式～



3月9日(木)の3校時、「玉江小学校同窓会入会式」が体育館で行われ、6年生が参加しました。同窓会長の増留貴朗様に学校までお越しいただき、玉江小学校の歴史や戦前・戦後の玉江校区の様子、鶴亀の池周辺の石碑等の説明をしていただきました。

実際に体験されたことや歌を交えた分かりやすいお話で、6年生は玉江小学校の卒業生になることに誇りをもったようでした。また、同窓会長より、卒業にあたっての激励の言葉もいただき、中学生に向けての決意をあらたにすることができました。

4・5月の主な行事予定

- 【4月】
- 5日(水) 入学準備(新6年)
 - 6日(木) 新任式・始業式・入学式
 - 7日(金) 三校PTA合同登校あいさつ運動
 - 8日(土) 土曜授業
 - 11日(火) 1年生給食開始
ひまわり・たんぼぼ・なのはな学級開級式・PTA
 - 12日(水) 標準学力検査(2・4・6年)
学級PTA・学年PTA(5・6年)
 - 13日(木) 標準学力検査(2・4・6年)
学級PTA・学年PTA(3・4年)
 - 14日(金) 知能検査(2・4・6年)
学級PTA・学年PTA(1・2年)
 - 17日(月)～24日(月) 家庭訪問
 - 18日(火) 全国学力・学習状況調査(6年)
 - 21日(金) 玉エコの日
 - 24日(月) 親子読書の日
- 【5月】
- 2日(火) 授業参観、PTA総会
 - 13日(土) 土曜授業、緊急時児童引き渡し訓練(1・2年生とその兄弟姉妹) PTA歓送迎会
 - 19日(金) 玉エコの日
 - 23日(火) 親子読書の日
 - 25日(木) 運動会会場準備
 - 28日(日) 春季大運動会
 - 29日(月) 振替休日

